平成 26 年 2 月 25 日

労災レセ電対応に関するパッチ提供分

1. 労災用の光ディスク等送付書作成 <ver4.7 以降>

労災用の光ディスク等送付書を作成可能としました。

詳細については、労災レセプト電算処理システム対応 (PDF) を参照してください。

2. 労災レセ電データチェック機能 <ver4.7 以降>

労災レセ電データ作成時にレセ電データに対するデータチェックを可能としました。

詳細については、労災レセプト電算処理システム対応 (PDF) を参照してください。

3. 労災レセ電データの記録不具合修正 <ver4.7 以降>

システム管理「4001 労災自賠医療機関情報」の指定病院番号が先頭が「0」になる番号で登録されていた場合に、労災のレセ電データ作成時の RS レコードの指定病院等の番号の記録方法に不具合があり、「0」を除いた番号で記録していたので、これを修正しました。

4. 労災・自賠責はり・きゅう及び施術加算対応 <ver4.7 以降>

はり・きゅう及び施術加算に関する負担金計算・レセプト・診療費明細書・カルテ 3 号紙の対応を行いました。

101801010 はり・きゅう (1 術) <2550 円>

101801020 はり・きゅう (2 術) <3950 円>

101801030 施術加算 <20%加算>

(計算例)

. 800

101801010 はり・きゅう (1 術)

101801030 施術加算

2550円×0.2=510円

2550円+510円=3060円

<重要>

入院の診療費明細書、外来・入院のカルテ3号紙のユーザカスタマイズを行っている場合は、別紙のユーザカスタマイズ留意事項を参考に、必要に応じてカスタマイズプログラムの修正を行ってください。(外来の診療費明細書は、修正の必要はありません)